

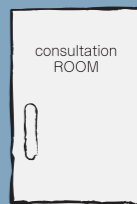


竹田健診センター センター長

芳賀 靖

はが やすし

きょうは
竹田健診
センター
です



こんにちは
診察室です。

人間ドックのすすめ

予防医学について

医療は、大きく2つに分けることができます。つまり、「予防医学」と「治療医学」に分けられると言えます。昨今、メディア等では、医学は、i-PS細胞に代表される研究、そして、そこからつながる治療に目が向けられていきます。しかしながら、病気には予防するものがあること、また、早期発見により完治しうるものがあり、治療医学と同じくらい、予防医学は大切であると言えます。

ものでしょうか、考えてみましょう。まずそれぞれ、個々が健康に気を使い、病気や怪我などから予防することが、基本となります。しかしながら、高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は、早期には症状はなく、また、症状のないまま経過することも多く、これら生活習慣病が引き金となって、脳梗塞や脳出血などの脳卒中、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患となって、初めて症状を呈することも少なくありません。また、がんなどの悪性腫瘍も

早期には症状を呈することは少なく、進行して初めて症状を呈することも珍しくありません。脳卒中や虚血性心疾患などは生活習慣病を予防、または、適切に管理することにより、ある程度予防が可能であり、また、がんなどは、早期に発見することにより、根治が可能なものもたくさんあります。こういった疾患を見つける、あるいは、健康状態を確認するための手段として、健康診断や人間ドックなどがあります。

健康診断と人間ドックの違い

健康診断は、ほとんどの人が毎年受けることになっています。というのも、企業などの事業主は、雇用者に対して健康診断を受けさせる義務があり、雇用者も健康診断を受ける義務があり、法律にも明記されています。また、自治体などが主導して行う住民健診もあります。しかしながら、毎年、会社などの健康診断を受けているので安心かというと、そうではなく、健康診断ですべてを網羅して

おわりに

以上、簡単ではありますが、人間ドックのご紹介をいたしました。人間ドックにより、すべて確定診断でき、即治療というわけではなく、そこから、さらに精密検査は必要となりますが、予防医学という点では、非常に有効な手段と考えます。

また、今後、病気の早期発見のための新たなスクリーニング検査も随時導入していくことを検討しています。是非、人間ドックを受け、健康でよりよい生活を送られてみてはいかがでしょうか。

「人間ドック」についてご説明します。

いるわけではなく、やはり、十分な面も多々あります。これに対して人間ドックは、任意ですが、疾患に対し広く網羅していると言えます。身体測定（内臓脂肪検査も含めて）、血圧測定、血液検査、胸部X線検査、心電図、上部消化管内視鏡検査、腹部エコー検査、眼底検査、男性では前立腺検査、女性では子宮がん・乳がん検診などに加え、脳ドック、肺ドック、PET（陽電子放射断層撮影）検査、骨密度検査、動脈硬化検査、甲状腺エコー検査など多数オプションも用意しており、100%とは言えませんが、様々な疾患の予防・早期発見に対応できるという点もよいでしょう。また、コースによっては、整形外科診察、耳鼻科診察、歯科診察などを受けられるものもあります。

次に、いくつかオプション検査についてご紹介いたします。

脳ドック

脳卒中の多くは、発症してしまつと、後遺症を残すことが多いと

と言えます。また、認知症についても、現在、有効な治療法はなく、認知症にならないように対処する、進行を遅らせるといったことが治療の中心となっています。脳ドックを行うことにより、脳卒中や認知症の危険があるかどうか、また、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤、さらには、脳腫瘍などを同定し、発症前に対処することも可能となります。

肺ドック

通常の胸部X線検査のみでは、肺がんの早期発見も困難であり、このため、肺がんの予後を悪くしています。早期発見により治癒率を高めることができるがんの一つ

と言えます。

胸部CT検査を行い、肺がん、前がん病変、炎症性病変などを同定し、呼吸器科の専門医につなげることが可能です。肺ドックに関しても、宿泊ドックのオプション、単独コースを用意しております。

PET（陽電子放射断層撮影）健診

がんなどの悪性腫瘍の発見、また、病変の悪性度の予測などに寄与しています。メリットとしては、CTやMRIは区域ごとの撮影で全身を同時に撮影することが困難ですが、PETは、全身を一度に撮影できます。デメリットとしては、早期のがんや小さな病変では同定が困難なこと、悪性腫瘍以外（炎症など）でも陽性に写る場合もあります。

PET健診も、宿泊ドックのオプション、単独コース（いくつかのコース設定あり）を用意しています。



山鹿クリニック6階にある竹田健診センター